

終わらない災禍、福島高濃度汚染水の海洋廃棄を糾弾する -韓日の民衆連帯で核発電を中断し、すべての核を廃棄しよう!

2011年3月11日以後、福島で3基の原発が爆発した。

2013年、東京オリンピック誘致を発表すると同時に、安倍政権は高濃度汚染水が「統制下にある」と大言壮語した。

ところが2019年、安倍政権は110万トン以上溜まった高濃度汚染水の海洋廃棄を予告している。

何も終わっておらず、何も統制できていない。

この8年間、福島では何があったのか。核の惨事が起きて以降、日本政府がした事は、「除染」という名で建物をぬぐい、放射能汚染土を片付けて積み上げたり、黒い袋に入れたりして表面的な放射能数値を低くすることだけだった。だがこれさえも70%以上が山林の福島県では効果がない。

風雨で山から放射能物質が流れ出し土壌と河川を汚染するからだ。あれほど溜まった膨大な汚染土を、今後は「リサイクル」の名で道路や農地、堤防を築き、全国各地に送るというのだから、日本全体を放射能汚染地域にする犯罪行為だ。安倍政権のふるまいが、チェルノブイリ惨事当時の旧ソ連よりはるかに悪いという叱責が続く理由だ。

ところで、今度は全人類を相手に国際犯罪である高濃度の放射能汚染水を海洋廃棄するという。福島惨事以降、原子炉から溶け落ちた核燃料を冷却するために毎日200トンの水を注ぎ込み、これが地下水と混じって毎週2~4千トンの汚染水が発生する。東京電力は2020年に汚染水の保存タンクが満杯になることを予想して最も廉価な方法である太平洋への放出を選んだのだ。

海流により全世界の海が放射能汚染されることでこうむる被害は、天文学的な処理費用と比べるものではないとの発想だ。もちろん今でも放射性汚染水のうち一部は海に流出しているのは公然たる事実だ。

さらに大きな問題は、こうして捨てたとしても汚染水問題が終わらないところにある。溶け落ちた核燃料は、ロボットさえ接近不可能で完全除去どころか状況把握もできずにいる。核燃料は、最小限十万年以上ずっと冷却水で冷却しなければならず、これによって膨大な汚染水が発生し、万一にも冷却水注入が途切れた日には再び爆発の可能性もある残酷なくびきに繋がれたのだ。

福島の復興？ 福島惨事は続いている。

福島はいつ終わるとも知れない放射性物質を吐き出す巨大な死の土地になった。ところが安倍政権は、自身の政治的立場のために人々を帰還させて復旧と再建に追いやったが、今度は「復興」を叫んで福島を中心に復興オリンピックをやるという。日常的に被爆する住民たちの安全は後まわしで、その土地で生産された農水産物をより多く流通させて福島事故の収拾がついたことを宣伝する蛮行を犯している。

東京オリンピックのボイコットや汚染水太平洋廃棄の中止だけでは終われない問題がある。福島に住まざるをえない人々、福島核惨事の現場で働く労働者の安全と人権の問題がそれだ。

また、今回の汚染水放出事態のなかで、核発電の再稼働や核発電振興を捨てない文在寅政権、戦争と侵略のために核兵器を手放さない米国などの野望について改めて考えてみるべきだ。

決して処理できない放射能汚染水、絶対に共存できない核、廃棄あるのみだ。

高水準核廃棄物のように、放射能汚染水も、浄化したり処理したり統制したりできない。なぜなら高濃度の放射性物質を含み、溶け落ちた核燃料がある限り汚染水は発生しつづける外ないからだ。

今回の事態は、安倍政権が自身の政治的正当性を確保するために無理に福島核惨事を覆い隠そうとするところから始まった。

数日前には、ロシア軍事基地で核兵器爆発事故があり住民待避令が下された。ヨングァンのハンビツ原発に洞窟のような穴があっても、蒸気発生器内のハンマーが発見されても稼働を止めない。(釜山の)キジャン郡住民の甲状腺癌裁判は敗訴した。ウォルソン原発近くのナア里住民たちの血が滾るような移住要求とトリチウム被爆の現実には徹底的に無視されている。原発が稼働すれば発生する排水は、放射能漏れと水温上昇に伴う地球温暖化の主犯と批判されているのに、連日膨大な量が溢れ出している。

核の問題は特定国家に限定されない。日本でもロシアでも韓国でも、核事故が起きれば手のほどこしようもなく、またチェルノブイリと福島のように終わりなく放射能汚染が続くということだ。結局、人類は核の脅威から避け得ない破局を迎えるだろう。

だからこそ韓国と日本、さらには全世界の労働者民衆が、核に反対する全地球人が、共に連帯して核をなくすために立ち上がらねばならない。

- － 日本の福島汚染水の海洋廃棄に反対する!
- － 安倍政権の原発再稼働 絶対反対!
- － 福島核惨事には解決法はない。核発電を全面中断せよ!
- － 核事故には国境がなく、放射能にも国境はない。
- － 韓国も例外ではない。核発電を中断せよ!
- － 全地球的な核の災禍、核発電と核兵器を廃棄せよ!
- － 韓日民衆は連帯して、核なき世界の実現を早めよう!

2019年8月16日

AWC 日本連絡会議、AWC 韓国委員会、労働党反核平和議題機構(準)、アルバ労組、アルバ連帯、円仏教環境連帯、青年政治共同体ノモ、平等労働者会、核再処理実験阻止 30km 連帯